

事務事業名	地方創生に関する動画情報発信事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
政策名	(I)みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
施策名	(02)移住・交流の推進	担当者名	松蔭佳子	電話番号	0854-40-1015
目的	対象 市外の人・市民 意図 雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。	予算科目	会計 011001 款 01 大事業名 01 中事業名 051503	(内線)	3522
基本事業名	(005)移住に向けた魅力の発信と交流の促進				広報活動事業
目的	対象 市外の人・市民 意図 雲南市の魅力を知ってもらう。				ホームページ運営事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度～ 31 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市の「子ども・若者・大人チャレンジ」の取り組みや雲南市の生活(仕事や教育)などをまとめた動画を制作し、全国の10代から30代の若い世代へ向け配信する。 またホームページやCATVで動画配信を行うことにより市民へも情報提供を行う。 ・動画は単に配信するだけではなく、戦略的に広告活動を行うことにより、志を持つ若者へ情報を届けるとともに、雲南市のサイトへ誘導し、市の魅力もあわせて情報発信することにより、人口の社会増へつなげる。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	ア	Facebook動画再生回数	回	-	-	513,958	2,000
	イ	Youtube動画再生回数	回	-	-	297,090	2,000
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	・市民 ・市外の人	ア	ホームページアクセス件数	件	400,070	402,129	416,015	420,000
		イ	子育てサイトアクセス件数	件	-	-	46,520	50,000
		ウ	若者サイトアクセス件数	件	-	-	3,016	5,000
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	・雲南市を知ってもらう。 ・雲南市に興味を持ってもらう。	ア	雲南市公式HPアクセス数/FBいいね数の増加率	%	-	-	159/116	-
イ		子育てサイト/若者サイトのアクセス数増加率	%	-	-	162/166	-	
ウ		YouTubeチャンネル登録数増加率	%	-	-	278	-	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
動画製作費 2,160千円 動画情報発信 2,992千円	財源内訳	国庫支出金	千円			5,152
		県支出金	千円			
	事業費計 (A)	地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円			5,152	
	正規職員従事人数	人	1	1		
	延べ業務時間	時間	560	560		
	人件費計 (B)	千円	2,180	2,177		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,180	2,177	5,152	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
インターネットの普及率やスマートフォンの保有率は増加する傾向にあり、特に首都圏の若者はほぼ毎日動画サイトYouTube等で動画を視聴している。また、フェイスブックの情報拡散力が高いため、動画を活用し、SNS等での情報発信は効果的である。	・職員が制作した動画を公開。再生回数1本当たりの平均は1,000回未満。平成27年度は動画制作、動画広告配信を業者へ委託した。	・動画から雲南市定住情報サイト「ほっこり雲南」へ誘導してもスマートフォン対応となっていないためなかなか集客できない。スマートフォン対応へ改修すべき。 ・市ホームページから目的のサイトを探しやすくするためエンタランスページを追加すべき。

事務事業名	地方創生に関する動画情報発信事業	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン希望者等へアンケート調査を実施し、効果検証を行う。 ・動画の配信にリンクする関連サイトの充実を図る。 	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市の魅力が伝わりやすく、定住人口の増加につながる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由		(具体的な手段や類似事業名)
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・動画制作や動画広告は専門性が高いため
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・外部委託や正規職員以外の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		<ul style="list-style-type: none"> ・提供されるサービスは、インターネットに接続する環境があれば、誰でも享受することのできるサービスである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信アドバイザーに指導支援により、動画の制作と制作した動画の広告配信を行った。再生回数など当初の目標を上回る結果となり、実際に定住支援スタッフによる相談件数は131%アップ、課題解決人材の流入実績もあるが、考えられる要因は複数あり、動画による効果の有無を検証する必要がある。 	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下	●	×	×
				コスト																						
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			×																						
	低下	●	×	×																						
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の動画を有効活用する。 ・動画による効果検証を行い、活用法について再検討する。 		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								